

タイ語履修のきっかけ

国際コミュニケーション学部2年
赤松夕希

「これは無理だ」

タイ語学習中にそう思ったことが何度もある。それは、新しいタイ文字を教わった時でもあったし、そのタイ文字の確認テスト前でもあった。そんな思いは焦りに変わり、気が付くと、空き時間図書館に籠もりせっせとタイ語を勉強している自分がいた。普段からは想像つかない自身の姿に、ふと手を止めてなんともいえない想いを噛みしめる時がある。—どうして自分はここまでタイ語にのめりこむのだろう？—と。

私が現在学習している外国語は3種類ある。誰もが勉強する英語、縁あって多少は理解しているドイツ語、それにタイ語だ。英語・ドイツ語はともかく、タイ語は学習し始めて7か月弱、個人的に一番理解が困難で一番学習に時間を割いている。

ここで、「3つもどうやって外国語を勉強しているのか？」と思われた方がいるかもしれない。2年次以上生は、必修言語以外の言語を学ぶことができる「選択外国語」制度があり、履修要項によると「第1・第2外国語を含めて最大5つの言語を学ぶことができる」そうだ。履修条件は特になく、強いて書くならば新しい言語を学ぶ根気が必要なぐらいで、先着順で履修許可が下りる。

実際「選択外国語」として新たな言語にチャレンジをしている方たちが、どのような想いで日々学習されているか想像はつかないが、少なくとも私自身は、履修登録は軽い気持ちで抽選画面のボタンをクリックしていた。

昨年2月、2か月強に渡る長い春休みを利用

して、国際交流センターが主催するオーストラリア短期語学研修に参加をした。帰国後の3月、研修時にお世話になった国際交流センターのKさんとお会いした。その際に「英語以外の言語、例えばタイ語なども学んだほうがいいよ。絶対就活に有利になるだろうから！タイは今成長しているから」とうかがった。それを聞いた私は「タイ語かあー、ちょっと興味あるし、将来就活に役立ちそうだし、必修授業入ってなかったら取ってみるか！」とあっさり受講を決心した。我ながら単純である。しかも、春学期に履修して肌に合わなければ継続受講をやめようとも考えていた。

…と、なんともいえないきっかけで始めたタイ語ではあるが、履修して後悔してはいない。むしろ、弱音を吐きつつも（担当の加納教授に迷惑をかけつつも）新しい言語に挑戦している自分をとても好ましく思っている。

この記事をお読みの皆様、来年から新しい言語に挑戦してみませんか？

